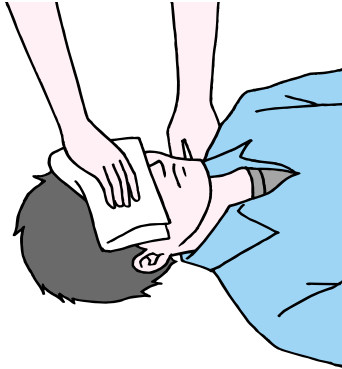


3 ケガ・事故（一般）

頭の強打

- ・意識不明、吐き気、左右瞳孔の大きさの違い、耳・鼻・口から出血や液体、手足のまひ
- ➔ 1つでも当てはまったら119番または脳神経外科などへ特に異常がなくても念のため受診を



圧迫止血

注意

- けいつい
*頸椎（首の骨）を損傷している可能性があるため、体をゆすったり、首を曲げたりは禁物。
- *耳・鼻・口からの出血や液体は、頭蓋底の骨折部から流れ出る血液や脳脊髄液と考えられます。脱脂綿などの詰めものをすると頭蓋内の細菌感染の原因に。ガーゼなどを敷いて液を吸い取る処置を。
- *受傷後、時間が経ってから頭痛、おう吐、まひなどが出てくる場合もあるので2～3日は注意深く観察する。

- 1 傷病者の反応と呼吸を確認。「なし」なら心肺蘇生を開始（※1～4ページ参照）。
- 2 おう吐するときは、首を曲げないように注意して体を横向けに。
- 3 意識がはっきりしている場合も、しばらく水平に寝かせて経過を観察。
- 4 頭部の出血は清潔なガーゼなどで押さえるか、包帯を巻いて圧迫止血。

頭部強打で生じる頭蓋内血腫

<small>づがないけっしゅ</small>	
<small>こうまくがい</small> 硬膜外血腫	頭蓋骨骨折で動脈が損傷。頭蓋骨と脳表面を覆う硬膜の間に血腫（血のかたまり）ができる。早期発見で除去手術を行えば、比較的予後は良好。
<small>こうまくか</small> 硬膜下血腫	硬膜とくも膜の間にできる血腫。脳挫傷を伴うことが多く、予後は悪い。
脳内血腫	脳深部が挫傷してできる血腫。受傷直後の急性型と、時間が経過しておこる遅発型がある。